OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	癌と人　第33号　目次
Author(s)	
Citation	癌と人. 2006, 33
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23731
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

◎題　字◎

財団法人　大阪癌研究会
前理事長　千　代　賢　治

＊表紙絵解説

「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関係ある学会のシンボルマークに蟹の図案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのぼる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著述のところどころに，今日私どもがいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で，蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気（癌）の格好が蟹に似ていたのでそれを呼び名とした。

今日，欧米では日本でいう癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスという言葉からきたもので，両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス（蟹）という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

第33号　目　　次

・ごあいさつ ……1
松　本　圭　史
・日本では何故がんが著増したか ……2
松　本　圭　史
・分子標的治療薬の開発 ……5
田　口　鐵　男
・癌を抑制する身体運動 ……8
岩　永　　剛
・「プロテアゾーム阻害剤」雑感
—偶然ということ—……13
辻　仲　利　政
・外来化学療法……17
金　　昇晋・野口眞三郎
・細胞周期の理解から発癌メカニズムを
探る……19
吉　田　健　一
・染色体を安定に維持する監視機構……20
中　西　　真
・アレルギーを引き起こす細胞と
腫瘍との関係……21
森　井　英　一
・血管内皮細胞における癌抑制遺伝子
PTEN ……22
濱　田　浩　一
・裏から攻める……24
難　波　大　輔
・アミノ酸輸送体と悪性腫瘍……25
金　井　好　克
・転写メディエーターを標的にした治療の
ための基礎的解析……26
伊　藤　光　宏
・細胞分裂と抗がん剤感受性……28
時　野　隆　至
・骨髄異形成症候群を引き起こす遺伝子
異常の解明……29
原　田　浩　徳
・DNA 切断センサーDNA-PK の性質と
機能に関する研究 —その成果は癌診断・
治療にいかに生かせるか？—……31
松　本　義　久
・糞便中の mRNA を標的にした大腸癌
診断法の確立……32
金　岡　　繁
・新しいがん治療をめざして—筑波大学での
養子免疫遺伝子細胞治療—……34
小野寺　雅　史
・平成 16 年度事業報告…… 36
・平成 16 年度収支計算書等…… 43
・平成 17 年度事業計画書…… 48
・平成 17 年度収支予算書…… 49
・平成 17 年度寄附者御芳名…… 50
・財団法人大阪癌研究会寄附行為……55
・(財)大阪癌研究会役員・評議員・賛助会員名簿… 58